

びろっば

Vol. 457 2024. 8

近森 正幸先生 御退任記念パーティー

近森正幸先生御退任記念
講演会&パーティー 開催

表紙の写真



近森病院新副院長 就任

「術中麻酔管理領域パッケージ」の
特定行為研修修了看護師3名、麻酔科所属に

近森 正幸先生 御退任記念 講演会&パーティー

2024年6月8日

近森正幸先生ありがとうございました

近森先生に感謝する会 発起人代表 **入江 博之**
(社会医療法人近森会 理事長) いりえ ひろゆき

40年以上にわたり我々を導き、また今日の社会医療法人近森会を築き上げてくださった近森正幸先生が、2024年3月31日付で退任されました。職員たちの間から「感謝の会を」という声が自然発生的に起こってきました。その声がだんだんと広がり、「近森正幸先生御退任記念講演会及びパーティー」が2024年6月8日土曜日にザ クラウンパレス新阪急高知で開催されました。



講演会



会場展示

40年以上の近森正幸先生と近森会グループの歩みをパネルで展示。



1. 講演会

「野戦病院から今日の近森会への道筋」

～時代に恵まれ、人に恵まれ、幸運に恵まれ、
チョッピリ才能にも恵まれ、本当に楽しい理事長人生でした～

会場に集まった約250人、そしてウェブ参加人数約100名に向けての講演でした。内容は、「これで近森は潰れる」と周囲の方々から言われたいくつものことをひっくり返してきた歴史のお話でした。超訳すると、「増床を伴わない増改築」「機能を絞り込み医療の質と労働生産性を上げる」「本格的な病棟常駐型チーム医療」「質を保ちつつ、徹底した経費削減の経営」でした。ご講演は途中笑いも起る楽しい内容で、1時間半があっという間でした。

2. パーティー「感謝のタベ」

プロ歌手によるオペラ歌唱終了後、約300人が待ち構える部屋に、まるで結婚式かのように奥様のけい子様と登場され、前方の雛壇に着席されました。県外の方は呼ばないという近森先生のご希望でしたが、サプライズゲストとして3名だけ県外からおいでいただきました。開演の挨拶と感謝の辞、近森先生の主要なご業績の紹介、また記念品の特注絵画の贈呈、川井和哉副理事長による乾杯で祝宴が始まりました。雛壇の周囲には職員・元職員たちが次々と集まり、写真撮影大会になりました。皆とお話をされ、にぎやかかつ、わきあいあいとした雰囲気での進行しました。終了後、これまた結婚式のように出口で皆を1人ずつお見送りいただきました。あっという間の2時間半、とても良い1日でした。

パーティー

乾杯

乾杯の挨拶は、
近森会 川井和哉副理事長。



オペラ歌唱

パーティー開演までプロ
歌手によるオペラが。



プレゼント

じゃんけん勝ち残った10名には近森
相談役がシャンパンをプレゼント。



記念品贈呈

芸術家玉本奈々氏に近森
相談役のイメージで作成
していただいたアート。



ゲスト



- (左より) ● 社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 理事長 神野正博先生
● 社会福祉法人恩賜財団 済生会支部熊本県済生会 支部長 /
済生会熊本病院 名誉院長 副島秀久先生
● 大阪医科薬科大学 形成外科学 教授 上田晃一先生



花束贈呈

浜重直久顧問、岡本充子統括
看護部長より花束が。

近森ご夫妻によるお見送り。
名残惜しんで長蛇の列に。



40年間 本当に楽しい理事長人生でした

近森正孝

近森病院 新副院長が就任いたしました

〈2024年7月1日〉



近森病院 副院長 兼 救命救急センター長

根岸 正敏 Masatoshi Negishi



近森病院 副院長 兼 麻酔科 部長

杉本 健太郎 Kentaro Sugimoto

これからも 「すべては患者さんのために」

7月1日付で近森病院 副院長を拝命いたしました。私は脳神経外科医として近森病院に5年間勤務ののち近森正幸前理事長のお誘いを受け、2005年に当院初の救急専従医として赴任して以来20年が経ちます。埼玉県で生まれ育った私にとって、高知県、近森病院はまさに第二の故郷ですが、全く緑のなかったこの地で医師を続けてこられたのは、近森病院の仲間そして高知県民が大好きだからです。そんな素晴らしい職場で、このような要職の命をいただき、その責任の重さに身の引き締まる思いです。お引き受けした以上は体力の続く限り高知県の医療に少しでも貢献できますよう、微力ながら全力で努めてまいります。

これまで救命救急センター長として救急医療一筋、全国レベルに勝るとも劣らない医療を提供することを目標にしてきました。これからは、近森病院全体が目指すべき将来への発展に向けさらに力を尽くしてまいります。

医療界は「医師の働き方改革」、「医療人材の確保」、「DX推進」など大きな変革期にあります。県民の方からは十分な医療を受けられなくなるのではという不安の声をお聞きすることもあります。全職員一丸となりタスクシフト、タスクシェアを進め近森病院らしい全員野球で、これまで以上に患者さんに寄り添った医療を進めたいと考えています。

そして次世代を担う若い職員にとっても働き甲斐のある希望に満ちた職場づくりを大切にしていきたいと思っています。

「すべては患者さんのために」という想いのもと、これまで近森病院を牽引されてきた諸先輩方に少しでも近づけるよう精一杯努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。



今後の目標

副院長を拝命し、身の引き締まる思いです。

わたしは麻酔科医として近森病院で働きはじめてから、もうすぐ6年になります。これまでは、手術室の中に閉じこもりがちに仕事をしてきましたが、これからは、近森病院全体を考えて行動し、近森病院の発展と持続を考えて行動します。

近森病院は救急車受け入れ台数が四国で一番多い病院です。救急受け入れの多い市中病院の役割は、まず第一に

- 患者さんへの適切な医療
- 職員のやりがいと幸せ

を作っていくことであると思います。

そして、若い人の教育、医療の発展への貢献もとても重要であると思います。

近森病院の手術件数は毎年少しずつですが増加しています。多くの緊急手術が行われ、ここ数年で呼吸器外科と乳腺外科が新たに開設されました。レベルの高い手術を安定して行える状態を作っていくことが重要だと思っています。

微力ながら、以上のような目標を持って、毎日をお過ごしと思っています。



「術中麻酔管理領域パッケージ」の 特定行為研修修了看護師 3名が麻酔科所属に

2024年7月1日～

より緊密な連携を

近森病院 副院長 兼 麻酔科 部長 杉本 健太郎
すぎもと けんたろう

7月1日より、麻酔補助の特定看護師が麻酔科所属になります。
全員、近森病院手術室での看護師の経験が5年以上あり、手術室の勤務をしながら近森病院看護師特定行為研修を修了したスタッフです。約3年前から働いており、年間300例以上の全身麻酔に関わっています。麻酔科所属になることにより、より緊密な連携ができると思います。



左から、澤田美咲Ns、立石Ns、横田涼Ns、杉本Dr



澤田NsによるAライン挿入

特定看護師の新たな モデルケースになるような取り組みに

近森病院 麻酔科 主任 特定看護師 立石 修久
たていし のぶひさ

現在手術室には特定行為研修術中麻酔管理領域パッケージ修了者が3名おり、日々特定行為を実践しておりますが2024年7月より看護部から麻酔科に籍を移す事となりました。

全国的にも麻酔科医不足が危惧されている中、当院は高知県の3次救急「最後の砦」として救急患者を受け入れており、緊急手術をスムーズに受け入れるには麻酔科医の片腕となり術中麻酔管理を行う特定看護師の役割は非常に大きいと感じます。

麻酔科医や多職種と協働し、看護師ならではの患者さんに寄り添った安全な術中麻酔管理を務めると共に、特定看護師の新たなモデルケースとなるよう日々精進いたします。

論文掲載

院外研修中も細々と…

近森病院 循環器内科 中山 拓紀 なかやま ひろき

Case reportではありますが、論文作成をしていました。3年前、2年前のACC(アメリカ心臓病学会)で発表したものを論文化させたものがacceptされました。

また昨年度、院外研修の国立循環器病研究センター在籍中の症例でも投稿させていただきました。いつものように土居先生には指導を頂戴しつつ、次は臨床研究での論文化を目指しています。これからも着実に頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。



英論文3編掲載

閲覧はQRから ↓

1 論文名 Refractory electrical storm in a patient with hypertrophic cardiomyopathy and an implantable cardioverter-defibrillator
掲載誌 日本心臓病学会会誌 Journal of Cardiology Cases 2023;27:233-236.



2 論文名 Pulmonary hypertension secondary to interstitial fibrosis with pulmonary venous lesions masquerading pulmonary veno-occlusive disease
掲載誌 Respirology Case Reports 2023; 11:e01179.



3 論文名 Implantable loop recorder uncovered torsades de pointes in long-QT syndrome type 1 with multi cause of syncope
掲載誌 日本心臓病学会会誌 Journal of Cardiology Cases 2024;29:214-217.



学会受賞



初期研修医 2年目
秦 剛志 はた ごうし



第130回 日本内科学会四国地方会
研修医奨励賞 受賞

演題

副脾茎捻転が原因と考えられた腹腔内出血の一例



初期研修医 2年目
野村 真緒 のむら まお



第124回 日本循環器学会中国・四国合同地方会
学生・初期研修医 奨励賞 受賞

演題

ECPELLA管理使用下で救命できず治療方針に悩んだ40代女性の一例

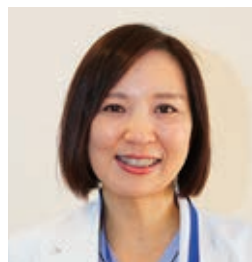
出張

いのちのスープサービス教室へ

心を込めて作る

2024年5月8日 / 鎌倉

近森病院 臨床栄養部
副部長
内山 里美 うちやま さとみ



5月8日に鎌倉へいのちのスープ教室に行かせていただきました。
いのちのスープは、料理研究家である辰巳芳子さんがお父様の介護をきっかけに考案されたスープです。当院でも、エムサービスさんと高知パレスホテルさんの協力を得て2006年より提供しています。

教室では、辰巳芳子さんに師事する対馬千賀子さんが講師をされており、今回はトマトジュースと春野菜のスープを教えてくださいました。素材の選び方、材料の下ごしらえ、切り揃え方、調理工程に至るまで細やかな配慮が行き届いていました。また、野菜の味や旨みを最大限に引き出せる「蒸らし炒め」という調理法も直に拝見することができました。当院でいのちのスープを提供する際にも、高知パレスホテルのシェフと研修を受けたエムサービス調理師指導のもと、これらの工程を守り丁寧に丁寧に作って患者さんの元へお届けしています。

今回の出張を通じて、調理技術はもちろんのこと、食がいのちを養うこと、また、食事を召し上がる方へ思いを寄せ、心を込めて作るという料理の原点についてもあらためて考えるきっかけとなりました。



左から、エムサービスの調理師新井さん、筆者、講師の対馬さん、鎌倉にある病院の管理栄養士さん、右2名の方は教室のスタッフ

第4回

社会福祉法人ファミリーユ高知
支援の可視化プロジェクト

成果発表会

2024年6月8日



社会福祉法人ファミリーユ高知／しごと・生活サポートセンターウェブ センター長 沼慶子 ぬまけいこ

ファミリーユ高知では、毎年6月に自分たちの支援の成果を可視化して発表する会を開催しています。

今年で4回目の開催になりますが、4回目ともなると発表の方法や内容も工夫が凝らされ、見ごたえ聞きごたえもレベルアップされていました。すべての発表を通して、職員が利用者さんの夢を実現するために多職種で連携しながら試行錯誤していること、その過程では必ず利用者さんの思いを取り

入れながら支援を展開していること、誰もが真剣に支援について考え取り組んでいることが強く伝わってきました。

当日は法人の理事、評議員や関係者の皆様にも会場に足を運んでいただき、労いと励ましのお言葉をいただきました。今後も、自分たちの『できた』『良かった』を伝える貴重な会を継続していきたいと思ひます。



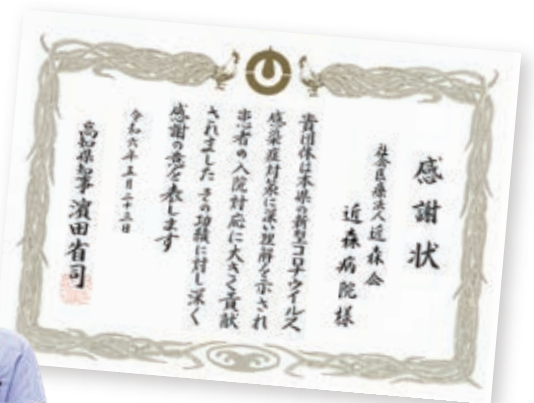
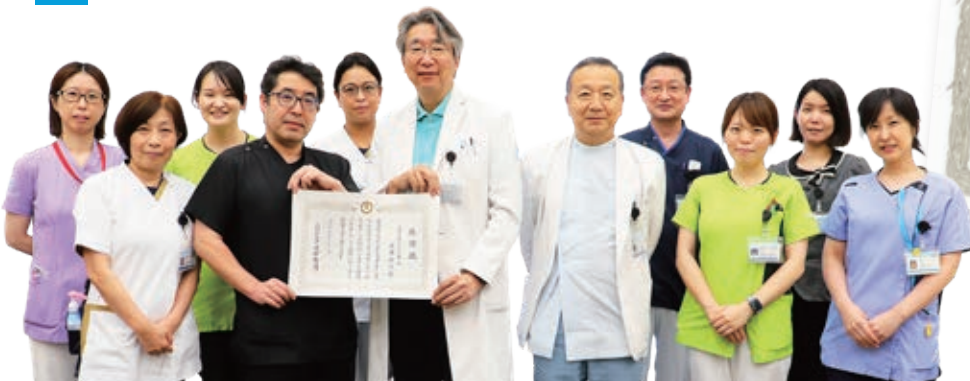
優秀演題

| 演目 | 事業名 |
|-------------------------------|--------------|
| クリーニング科改造大作戦!! | ハビリ・就労継続支援B型 |
| これまでとこれからのあたりまえ | ハビリ・生活訓練 |
| A氏が本当にやりたかったこと ～目標の変化～ | ハビリ・機能訓練 |
| 雇用に繋げる3つのトライ ～つないで結んでその先へ～ | ハビリ・就労移行 |

※ハビリ…高知ハビリテリングセンター

近森病院

新型コロナウイルス感染症対応について
高知県知事より **感謝状** をいただきました



感染対策委員会にて、感謝状を持つ川井院長(右)と感染症内科 石田部長(左)

外国人労働(インドネシア)の受け入れ 開始しました 2024年7月1日~

社会医療法人近森会 常務理事 兼 管理部長
寺田 文彦 てらだ ふみひこ



7月1日よりインドネシアからの看護助手(介護スタッフ)を受け入れました。バックグラウンドは現地の看護師、薬剤師、検査技師、医療以外の仕事など多彩です。高知県下の看護師、看護助手が減少する中で、特定技能外国人(介護)として、引き続き日本語と介護の技術を学びながら、業務に邁進して欲しいと思います。

専門学校などを卒業した彼女達が、遠く母国を離れて5年間、業務に従事してくれます。せっかくの滞在ですので、仕事だけでなく、高知の文化や習慣にも興味を持って貰えるように、滞在期間中はお互いにプラスとなる収穫があるような場の設定をしてあげたいと思います。温かい目で彼女達を指導してあげてください。

▶
両端、特定技能外国人を支援する管理部 寺田部長、
看護人事部 尾崎部長
特定技能外国人の皆さん、
前列左から、エプティ、リスマ、デア、シドニー、
後列左から、ハニファ、ニア、アイニ、ディタ、ヴェラ



◀7月4日、特定技能外国人の入社式を行い、辞令が入江理事長より渡されました。



シリーズ
イメージキャラクター
モリンちゃん

すまいる♥ナース通信 #認定看護師

話を聴くということ

総合心療センター5階 主任/精神科認定看護師
溝依 百世 みぞより ももよ

今日まで、たくさんの患者さんやご家族との出会いがありました。その方々と関わらせていただく中で、患者さんやご家族など相手の話を聴かせてもらう時間を大切にしてきました。看護は、相手を知ることから始まると思っています。そのためには、話を聴くことが最も大切です。患者さんが今まで何を大切に生きてきたのか、これから何を大切にしたいか、これからどんな生活をしたのかを聴かせてもらい、患者さんの自己決定を支援できる関わりを大切にしていきたいと思っています。

精神科看護には目には見えない看護技術がたくさんあります。若手スタッフに精神科看護の楽しみや難しさ、「話を聴くことの大切さ」を伝え、スタッフ育成にも取り組んでいきたいと思っています。



総合心療センターには
精神科認定看護師が4名在籍しています!(筆者:左から2人目)

～関連業者7社27名参加、計画停電～

本館の“大動脈バイパス手術”を実施しました

2024年4月14日・27日



診療支援部 施設用度課 課長
宮下 公将 みやした まさゆき

4月14日(日)の夜間に本館BC棟の計画停電を実施しました。今回は外部から電気を引き込む『高圧ケーブル』の更新を実施。たとえるなら本館の“大動脈バイパス手術”です。この“手術”に失敗しないよう、さらに万が一にも“麻酔から醒めない

(電気が復旧できない)”ことは絶対に避けなければならず、各取引先と綿密な協議と準備を重ね、無事完了となりました。

また、4月27日(土)日中には本館A棟において設備点検の計画停電を完了させましたが、それまでに想定外があり複数日の計画停電実施となりました。一連の対応について、ご協力いただいた院内外の皆様にあらためて御礼申し上げます。

(写真上) BC棟屋上、計画停電開始直後の様子。関連業者7社27名の深夜作業。限られた時間の中、十分な連携体制のもと、各自ミッションを遂行していく。

(写真下) 安全な実行のため、電気・設備・建築のプロの知見を集約、当院の事情との整合性を綿密にすりあわせ(1年以上前から計画。実施前3ヶ月間だけで計10時間以上の会議を実施)。



がん患者さんの
抗がん剤治療をサポートする

漢方薬

〈其の5〉

近森病院 糖尿病・内分泌内科 部長 浅羽 宏一 あさば こういち

六君子湯 (りっくんしとう)

今回からは食欲不振に対して用いられる漢方薬の話をご紹介します。

がんを治療する上で大切なことは、ご飯をしっかり食べることです。体重を維持することは、体力や免疫力を落とさないことにつながりますので、体の血肉となるタンパク質をしっかり摂取しましょう。

食欲増進には人参を主薬に用います。一般的には朝鮮人参、薬用人参とされています。人参に様々な生薬を加え、食欲を高め体力を付ける漢方薬を作ります。

代表的な漢方薬は六君子湯です。人参の効果を高めるために甘草を加え、更に胃内の胃液などの水分を取り除くことで胃腸の働きを良くする目的に蒼朮と茯苓を、健胃薬目的に大棗と生姜を、胃の蠕動運動を良くする目的に陳皮と半夏が加えられています(右図)。夏バテで食欲が落ちたときに生姜を料理で使いますね、陳皮はみかんの皮で、七味唐辛子に入っています。医食同源です。

現代医学的には、六君子湯は食欲増進ホルモンであるグレリンを介して脳に働き食欲を増進させ、成長ホルモンを増やして筋肉を増強させることが分かっています。がん患者さんの食欲増進薬にぴったりです。



六君子湯の薬能

- ◆ 人参
- ◆ 甘草
- ◆ 蒼朮
- ◆ 茯苓
- ◆ 大棗
- ◆ 生姜
- ◆ 半夏
- ◆ 陳皮

消化吸収を高め、倦怠感を改善させる

胃腸内の余分な水分を排泄させる

健胃薬

胃腸の動きを良くする…食欲増進作用

四君子湯 (しっくんしとう)

教室

近森会職員限定

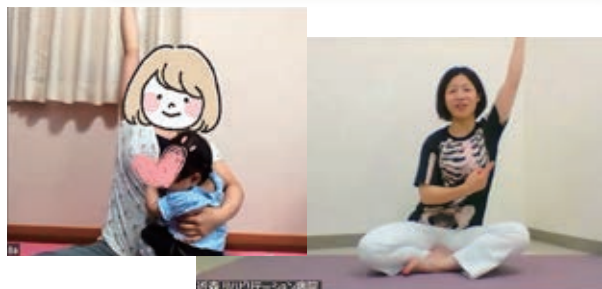
『産後ママ 体操教室』開催中!

近森リハビリテーション病院
リハビリテーション部 理学療法科 岩佐 恵子
理学療法士 いわさ けいこ



近森会安全衛生委員会では、女性職員の健康増進の取り組みを開始しました。現在、産前産後のお役立ちYouTube動画の公開と、理学療法士による『産後ママ 体操教室』を月1回開催中です。体操教室はオンラインZoomを使用するので、育児休暇中でも自宅から特別な準備なく参加が可能です。

「赤ちゃんが泣いたらどうしよう…?」大丈夫!お子様と一緒に参加の方もいるのでご安心を(*^_^*)また、産後期間が経った方でも参加可能です!少しの時間ですが、後回しになりがちなママ自身のケアの時間に、リフレッシュに、運動のきっかけに♪ご参加をお待ちしています!



◎参加方法については、院内掲示のチラシや安全衛生通信第84号(サイボウズ掲示板にバックナンバー有り)をご確認ください。

復活!!

院内旅行

8月スタート

近森病院 院長 川井 和哉 かわい かずや

ポストコロナの2024年度が始まりました。4月からの医師の働き方改革、6月の診療報酬改定など課題は山積みです。しかし、質の高い医療を目指し、自己変革を繰り返すことで培ってきたチーム医療と素晴らしい仲間たちがいるので大丈夫。

そして、いよいよ近森名物・院内旅行の復活です。メリハリの利いた働き方は当院の特徴です。職員同士の交流によりチーム力はさらに向上するでしょう。さあ、どのコースに参加しようかな?楽しみです。

職員募集中!

募集職種

- 医師
- 言語聴覚士
- 看護師
- 薬剤師
- 介護福祉士
- 診療放射線技師
- 救急救命士
- 臨床検査技師
- 理学療法士
- 事務
- 作業療法士



詳しくは、近森会グループHPの採用ページをご覧ください。



3,000と
誇れる仕事

手足の
スタンプで
作ったよ!

保育室「そると」の応援ポスター



熱烈応援 昇格人事

私のすべきこと

何を成せば上司や後輩の一助となるのか?それを考え行動することが自分の役割だと思い務めてきました。これから更に広い視野で一步踏み出そうと思います。

NST発足から20年以上の歳月が流れても変わらないもの、『患者さんのために最適な栄養療法を実践すること』。この信念を胸に、微力ながら臨床栄養部発展のため尽力して参ります。

近森病院 臨床栄養部 科長
有光 純子 ありみつ じゅんこ



近森会グループで元気に働く仲間を紹介します

役職名が変わりました

2024年6月16日~

今回、臨床工学部と画像診断部、臨床検査部の所属長などの役職名が変更となりました。技師長から部長への変更は、コ・メディカルの技術職の所属長から部のマネジメントを行う役職になるという意味です。各部署の部長には名実ともに自部署の統率および他部署との連携を、今まで以上に強化していただきたいと願っています。

社会医療法人近森会
常務理事
兼 管理部長

寺田 文彦
てらだ ふみひこ

臨床工学部

部長 平野 友紀 (左)
ひらの ゆき

副部長 長尾 進一郎 (右)
ながお しんいちろう



部長 田村 淳也 (中央)
たむら じゅんや

副部長 久保 行広 (左)
くぼ ゆきひろ

副部長 門脇 圭治 (右)
かどわき けいじ



画像診断部

部長 近澤 香奈 (右から2人目)
ちかざわ かな

副部長 橘 知佐 (左から2人目)
たちばな ちさ

副部長 補佐 森本 瞳 (左端)
もりもと ひとみ

副部長 補佐 池内 梨沙 (右端)
いけうちりさ



臨床検査部

ハッスル研修医

まだまだ修行中

高知県で生まれ、大学時代を兵庫県で過ごし、地元に戻ってきました。近森病院の雰囲気は温かく、エネルギーで、たくさんの刺激を受ける毎日です。

研修スタートのER科での2ヶ月間は多くの失敗を経験し、周囲のサポートに助けられながらなんとか乗り越えてきました。1つ1つできることが増えている実感とともにまだまだできないことが多くあり、今後もER科研修を当直で最大限に活かしていきたいと思えます。現在は消化器内科研修中で、病棟業務が初めてで、患者さんとのコミュニケーションが増え、新鮮な体験をしています。ERで学んだ病歴聴取や身体診察の技術を活かし、患者さんの背景や疾患を理解することが診療の助けになっています。

困ったときは同僚や先輩方に質問し、丁寧に指導を受けており、日々感謝しています。患者さんから学びつつ、できることを増やして還元できるよう頑張りたいと思っております。今後とも何卒よろしくお願い致します。



初期研修医 1年目
(高知大学・近森病院たすきがけプログラム)
塩見 真弘 しおみ まさひろ

退職

ごあいさつ

近森リハビリテーション病院 リハビリテーション部 統括部長 **小笠原 正** おがさわら ただし

在職 1986.4.1~2024.8.17



近森会は永久に不滅です

私が近森会に就職したのは1986年4月で、今年で勤続38年になります。岡山県の養成校を卒業後、倉敷市の病院で3年間勤務した後高知に帰り、就職先として選んだのが近森会でした。その頃のリハ部門は売り上げには貢献できない部門とされていましたが、この年に理学療法士3名、作業療法士2名、言語聴覚士1名と、当時としては多くのセラピストが近森会に就職しています。また、初代近森リハビリテーション病院院長の石川誠先生もこの年に赴任されていますので、近森会はリハに関しても先見之明があったと思います。

あっという間の38年間 病院~老健施設~訪問リハまで

石川先生の活躍は折に触れ紹介された通りで、様々なリハの改革もあり、私も病院の入院や外来リハ、老人保健施設の入所や通所リハ、訪問リハやケアマネジャーまで様々な仕事をさせていただきました。

た。また最近では管理職と外来リハを担当していますが、今までたくさんのスタッフや患者さんと出会うことができ、良いセラピスト人生を送ることができたと思っています。

また去年は少し体調を崩しご迷惑をおかけしたこともありましたが、リハ病院和田院長をはじめ、多くの方のサポートにより無事定年を迎えることができ感謝しております。さらに近森前理事長には、私の手腕不足でご心配をおかけしたこともあったと思いますが、最後まで温かく見守っていただき、この場を借りましてお礼申し上げます。

別れの言葉に変えて、近森愛を!

最後に、長嶋茂雄 読売ジャイアンツ終身名誉監督が現役を引退するときに「わが巨人軍は永久に不滅です」という有名な言葉を残していますが、「近森会も永久に不滅です」。近森会の今後益々の発展をお祈りしております。

ユニフォームが変わりました

6月17日

左は処置の準備や補助など、右は受付や診察介助で着用しています。



献血 6月25日

血液センター様からの目標(50名)達成!

結果

- 協力者(受付者数) 57名
- うち400ml献血ができた方 ... 53名

ありがとう ございました!

地域医療連携ガイド(2024年度版) 完成しました!

今年度の表紙ゲストは、おの肛門科・胃腸科・外科の院長 小野誠吾先生です!

各診療科の体制や専門性を知っていただくため、毎年本誌を県内の関係機関へ配布していますが、今年度から、ホームページでも公開するようになりました。

閲覧はこちら





▶ 2003年、高知救愛会のイベントで。左から、前田部長、近森相談役、小笠原統括部長、高芝部長。「相談役と、これからのリハビリテーション部を託す2人と一緒に写っている」象徴的な1枚。

「わかりました!」の言葉

近森リハビリテーション病院 院長
和田 恵美子 わだ えみこ

小笠原正リハ統括部長との思い出といえば、患者さんの臨床と一緒に外来でやったことばかり思い出されます。

いつも「う〜ん」とうなって頭をこすった後に「わかりました!」と何とかしてくれました。司会とスピーチが抜群に上手でどんな場所でもバシッと締めてくれました。昔、人がいなくて旧病院の守衛の仕事をリハ部が引き受けた話が私は一番好きで、「石川先生に病院の危機だ!どうする!と言われて、気が付いたらハイって言ってたんですよえ」と笑っていました。周りの人が困っているとつい自分で動いてしまう小笠原さんの温かさになんかついてきました。

いつも退職の日を楽しみに指折り数えていたのは知っていましたが、外来訓練の危機です!とお願いすると、結局退職後も手伝いに来てくれると言ってくれました。そんな優しい小笠原さんがみんな大好きです!!ありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願いします!!

左から高芝部長、小笠原統括部長、和田院長 ▶

どんなことでも受け止めてくれる大きな存在

近森リハビリテーション病院 リハビリテーション部 部長
高芝 潤 たかしぼ じゅん

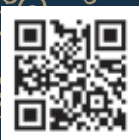
入職後、近森病院に異動して小笠原リハ部統括部長と仕事で一緒にしました。当時から急性期リハ部の顔として患者さんに関わりながら部門を取りまとめ、内外で中心的に活躍されていました。その後、在宅総合ケアセンター近森、近森リハビリテーション病院で取りまとめとして先頭に立ち、リハ部門を引っ張っていただきました。また、高知県理学療法士協会の理事と副会長を歴任するなどその活動は広く、高知県の理学療法士の育成にも大きく貢献していただきました。

私からみた統括部長は、近寄りやすい存在でしたが、そのお人柄は、懐が深く、どんなことでも笑顔で受け止めてくれる大きな存在でした。定年退職ということで、大きな支えを失うことは残念ですが、もう少し外来業務でご協力いただけると聞いており、もうしばらく、ご助言いただければと思います。本当に長い間お疲れ様でした。



写真大募集!

ひろっぱ等掲載用にチームちかもりのお写真をお待ちしています。提供は下記QRコードから▶



切: 8/14(水)





リレーエッセイ

10年に1度の楽しみ

しごと・生活サポートセンター
ウェブ
就労継続支援B型スウェル 支援員

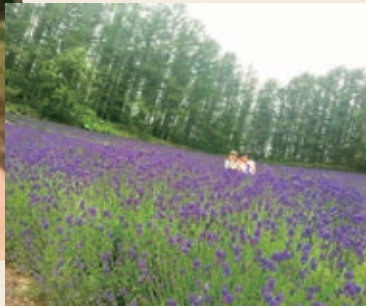
倉内 みぎわ くらうち みぎわ



私は10代の頃から大泉洋さんが好きで北海道にはたくさんの有名人がありますが、北海道のスターは?と聞かれると迷わずその名前を挙げます。2007年1月～3月に放送されていた「ハケンの品格」というドラマがキッカで好きになり、バラエティー番組などでのトークも面白かったためどんどん魅力にハマっていきました♡

そうなるとう北海道へ行ってみたいと思うようになり、学生時代に友達と初めて北海道へ行き、そこで節目の20歳の誕生日も迎えました(笑)。何キロも真っ直ぐに続く道路は北海道ならではの景色で、回転ずしのネタの大きさにも驚きました!自然も食も豊かで五感全部で楽しんだ気持ちになり、リフレッシュした帰りの飛行機では10年に1回行くことを約束しました。

30歳の時にも2回目の北海道旅行を実現し次は40歳で行く予定でしたが、ただいま新婚旅行で北海道に行くことを計画中…予定より少し早く3回目の北海道旅行に行けそうなので今はそれを楽しみに日々頑張っています。



私の趣味



たのしいことは、 おかわり自由

近森病院 HCU 看護師
下元 美香 しももと みか



私は飽きやすく、何か新しい事を始めても三日坊主で終わる事が多いのですが、唯一継続できている事といえば…

それは、美味しいものを食べる事です!!笑

ご飯系やパン、麺、スイーツ、お酒、調味料まで!ジャンルを問わず、暇があればSNSで美味しいものの情報を集めて、次の夜勤終わりや休日にはココに行こうとワクワクしています。

実際に食べて美味しかったもの、珍しいものを自分自身もSNSに投稿しており、それを見てくれた同僚や友人からは「いっつも美味しいものを食べようね」「あれ、どこのお店?」などと声をかけてもらったり、誰かと美味しいものを一緒に食べておしゃべりすることで私自身もリフレッシュでき、「食」を通じた繋がりが増えてうれしいです。

ただ、私も年齢を重ね代謝が悪くなってきたと実感しています…。

美味しいものを食べるために!健康のために!と、重い腰を上げマットピラティスにも通っています。

今のところ1年近く継続できているので新しい趣味に認定してもいいですよ?笑

これからも食と健康を両立させながら、日々をたのしく過ごしていきたいと思います。



FREE

まるまる
私の〇〇

〇〇にフリーワードを入れて
語っていただきました

私の「趣味」

近森リハビリテーション病院
4階病棟 看護師

田所 史帆 たどころ しほ



わたしの趣味は旅行です。知らない土地に行っているいろんなことを体験したり、景色や建物を見ることができるので楽しいです。また、旅行に行く前は、どこに行こうかSNSやガイドブックを見ながら想像を膨らます時間が楽しく、旅のしおりを作ることもあります。

最近、コロナ禍もあり国内旅行が多かったのですが、近場の海外にも行きたいなと思っています。



写真は2023年5月に北海道に行った時のものです。



地域・在宅看護論実習Iでの学び

2024年6月3日・4日

近森病院附属看護学校 1年生

河淵 美輝 こうぶち みき

住 民の暮らしや取り巻く環境に視点を向ける目的で、6月3日(月)・4日(火)の2日間、日高村社会福祉協議会の地域調査や事業に参加しました。

参加した「ふれあいサロン」は、主に高齢者が利用されていて、話をしている中でネットでは知り得ない地域の特性や暮らしが見えてきました。

加齢に伴う疾患を持ちながらも積極的に参加されている姿を見て、人と人とのふれあいが健康につながっていると感じました。ナイチンゲールが唱えた「自然治癒力を高める」という看護の原点に触れることができたように思います。

今回の実習では、心を通わせる看護を行うための第一歩を踏み出せました。

OPEN CAMPUS

2025
8/17 SAT 10/27 SUN 3/22 SAT

詳細は [近森看護学校](#) で検索、または右のQRコードより公式ホームページをご確認ください。社会人や保護者の方の参加也大歓迎です。



近森で学ぶ。

近森相談役のぶらり旅



若い頃、塗装にも凝ってドイツの4号戦車などのプラモデルを作っていたので、6月9日(日)懐かしくていの町紙の博物館で開催されている「第25回高知家の大模型展示会」にぶらりと行ってきました。やはり、第二次世界大戦中の軍艦や戦車、戦闘機などに興味が惹かれましたが、ベテランのモデラーが興味津々の小学生の男の子に一生懸命作り方を教えており、プラモデル作りが脈々と次の世代に継承されていました。

編集室通信

高知の夏は、輪抜け様から始まり、志那祢様で終わると言いますが、高知の夏の風物詩といえば、よさこい祭り。帰宅時に街から鳴子の音も聞こえ始めました。今年はよさこいチーム「ちかもり」も復活。暦も良いので、よさこいの追っかけを楽しみたいと思います。今年はパリオリンピック観戦と楽しみが多く、忙しい夏になりそうです！ 陽

診療数 2024年6月

—— 電子カルテ管理課 ——

● 近森会グループ

| | |
|--------|---------|
| 外来患者数 | 16,103人 |
| 新入院患者数 | 1,058人 |
| 退院患者数 | 1,068人 |

● 近森病院(急性期)

| | |
|---------------|---------|
| 平均在院日数 | 11.33日 |
| 地域医療支援病院 紹介率 | 100.80% |
| 地域医療支援病院 逆紹介率 | 264.65% |
| 救急車搬入件数 | 588件 |
| うち入院件数 | 313件 |
| 手術件数 | 599件 |
| うち手術室実施 | 354件 |
| うち全身麻酔件数 | 251件 |

友や家族と一緒に
彩り豊かな
人生を歩む



中嶋 絢子

Junko Nakashima

近森病院 病理診断科 部長
日本病理学会 病理指導医
日本専門医機構 病理専門医
日本臨床細胞学会 細胞診断専門医
死体解剖資格

聞き手／ひろっぱ編集部

今年の病理診断科部長就任時、小紙6月号に掲載されたあいさつ文には、「いつか「と金」部長に成れるように」というタイトルで抱負を語られた。謙遜を含んだ前向きな思いを簡潔に届けた言葉に、文学的センスを感じた。

本人も「理系より文系が得意かもしれない」と振り返る。中高時代、電車通学の往復3時間のほとんどは読書にあてた。4歳から始めたピアノ、7歳から始めた書道も習い続けながら医学部受験を制している。忙しい学生時代を過ごされたのが想像できた。

家族や仲間とコラボを楽しむ♪

今は趣味でピアノを楽しむ。帯屋町にストリートピアノが2日間だけ現れた時は、消化器内科の北岡先生と連弾演奏を決行。子どもが同級生である北岡先生とは仲がよく、中嶋先生の頼れる姉貴分のようなのだ。「今度は、バイオリンが得意な職員さんにもコラボしよう」と声をかけているんです」と積極的。演奏を通じて楽しい輪を広げられている。



北岡先生(手前)との連弾は息ピッタリ!

墨と紙に向き合う癒しの時間

出身の愛知県は書道が盛んな地域だった。通っていた教室は小学校低学年から大会までに1,000枚書くという厳しい指導もあり、友達は中学・高校の進学に伴いやめ

ていく中、習い続けた。

高知の大学に通っている時でさえ、1人で書いては実家に送り、母親が師匠に作品を見せに行くという形で継続。書道歴は30年を超え、「彩友」という雅号を持ち中部日本書道会の審査会員も務める今も、師匠に作品を送り助言をいただく。

「書道はある意味、自由です。初めは手本通りに書くことが大切ですけど、バランスが崩れていても良いし、黒いところだけでなく余白も大切。1、2、とリズムをとって…」と熱心。「高知には同じ流派の方がいない」と思い、長い間1人で書いていましたが、最近、流派を超えて交流できるようになりました。書道界では流派により作品の方向性が違うのですが、フレン



高知県展で褒状受賞。

ドリーな高知の県民性に受け入れてもらい、県内でも作品を見てもらう機会に恵まれるようになりました。毎日、家族が寝た後、15分でも墨と紙に向き合う。その時間が今では欠かせない癒しとなっている。

プライベートでは循環器内科医の夫と11、9、7歳の子どもと暮らす。暮らしの優先順位は仕事>子ども>書道。3人の子どもは、それぞれに部活、ピアノ、水泳、書道、塾、バレエに通っており、休日は過密なタイムテーブルが組まれている。さらに今年の夏は実母(数年

前に愛知県から帰高)や友人とともによさこいチーム「ちかもり」にも参加するという。「やりたいことにみんなを巻き込んでいると思うこともあります。夫は夕食や子どもたちのお弁当を作ってくれますしね」と家族の協力に感謝を述べる。ともあれ、忙しいスケジュールを見事なマルチタスクでこなしている。

限りある人生だから
ワクワクすることに素直に

「もう少し休んでもいいかな」と思うこともある。寸暇を惜しんでやりたいことをするには理由があった。

医大5年生の時に大病が発覚。手術は成功したが体力に自信がなくなった。何となく「80歳位まで生きるのだから」という考えは失せた。それまでは、やりたいことより、より良い方を選択してきた考えが一転。「やりたいことをしないと損」という思いに至った。「忙しさ」は生きていることを実感させてくれ、さらに充実感をもたらしてくれるのだから。

今と未来を見つめ、前に進む

現在39歳。病気を早く見つけてもらったことから病理診断医に。今は自分が役に立てることに生きがいを見出すようになった。高知県全体でも、病理学の医師が少ないのは課題で、後輩育成も重要な役割と認識する。大切にしている言葉は「人間万事塞翁が馬」。近森相談役の座右の銘と同じですが「…と恐縮しつつ「辛いこともあったけど、今がとても幸せ」と美しい笑顔で答えてくれた。よさこい祭りが落ち着いた秋ごろには、院内で書道サークルを開催予定だとか。やりたいことを素直に前へ、前へ。「と金」を目指す「歩兵」部長の邁進に目が離せない。

